

## 平成25年度上京ワークハウス事業実績報告書

事業主体 社会福祉法人 京都ワークハウス  
代表者 理事長 西村 清忠  
作業所の名称 就労継続支援B型事業所「上京ワークハウス」  
所長 藤井 嘉子

利用者負担金 希望者のみ宿泊実習代として1泊4500円  
職場実習希望者(2泊3日 11,000円)  
所外活動での飲み物・食事代などは実費  
旅行積立金 月2,000円  
給食の提供(希望者のみ) 毎週水曜日 400円

定員 35名  
現員 36名  
月平均利用日数 678日

職員体制 正職員8名、常勤パート2名、非常勤パー5名

### 25年度を振り返って

1983年11月、上京ワークハウス(当時は下京ワークハウス)が誕生し、今年度30周年を迎えることが出来ました。法人・後援会・家族会が知恵を出し合い30年のイベントを1年かけて企画し取り組みました。30年の歩みに関係者・家族・仲間・職員の思いや願いで綴った記念本「じゃあまた、の明日」発刊。歩みを構成劇にした舞台発表。日曜コンサート。記念の作業所旅行。物品販売。映画会など。記念本は大学生が福祉を学ぶ上での教材として活用して下さったり、舞台では「仲間の姿に感動した」という声をいただいたり、30周年の取り組みから得たものは、計り知れません。締めくくりで取り組んだパーティも、仲間が主役のほのぼのとしたものとなりました。

どの取り組みも多くの方々への支援があればこそ成功したものです。改めて支えていただいた方々、30年の歩みを作ってくださった方々に感謝しなければなりません。

今年度は、4月に2名の仲間・2名の職員、2月に1名の仲間を迎え、仲間36名、職員16名(常勤10名・非常勤6名)となりました。仲間の高齢化や障害の多様化で、個別での支援が多く求めらるとともに職員の専門性が問われた1年でした。生活面での課題を抱える仲間も増え、関係機関と連携しながら支援にあたりました。今後事業所のあり方も検討しながら、実践を進めていくことが課題となってきます。会議の充実と課題を全体のものにするため、フロア会議・調整会議を行うとともに、作業所外から講師を招き学習会を開催するなど実践の向上を目指しました。職員の一泊研修は、年間を通じての30周年事業の取り組

みで実施には至りませんでした。

また、今年度より、給食の充実を目指して管理栄養士にいらっしゃり、給食委員会を月1回開催。1ヶ月の献立の振り返りと次への助言をもらい、内容の充実が図られました。家族の方対象に、食について学ぶ機会も設け「参考になった」などの声を聞くことができました。

作業面では、仲間のスキルアップと工賃の向上に繋がる新たな施設外での仕事として、作業所向かいのマシオン清掃、四条河原町での駐輪場清掃などに取り組みました。また、施設外での実習を希望する仲間には、ほっとはあとセンターが京都府から委託されて実施している「福祉から雇用へ」の事業を活用。派遣された職員と一緒に働くことへの意欲を育てて来ました。

26年度に10周年を迎えるまんまん堂は、ランチの固定客も増え売上げも順調に伸ばし地域に密着した「いこいのスペース」になってきています。一方、食数が増えるに従い仲間・担当職員の負担が大きなものとなってきており、オープン当初の「仲間のチャレンジしたい気持ちを応援する場」を念頭に置きながら事業を進める必要があります。

1月、障害のあるなしにかかわらず誰もが平等に暮らせる社会を実現することを謳った、障害者権利条約の批准がされました。きょうされんはじめ多くの団体・個人の方々の声・運動があったからこそその結果であると思います。今後も、障害者権利条約・骨格提言が生かされたものにするため日々の実践を豊かなものにするとともに、運動を大きく広げていかなければなりません。

#### 作業実績

- (1) 作業種目 軽作業（箱折り、ダイレクトメール、手芸用品袋詰め、生協チラシ配布など）  
配食サービス（総合生活支援センター 聚楽の請負作業）  
営業（夏・冬・バレンタインの時期に事業所を廻り、物品販売）  
自主製品（牛乳パック再生名刺・ハガキ、廃油セッケン、縫製）  
カフェ“まんまん堂”（喫茶、蒸しまん製造・販売）
- (2) 作業日数 22日間
- (3) 作業時間 5時間（AM9：30～PM3：30 内80分休憩）
- (4) 利用者工賃 月平均 12,758円

#### 利用者に対する支援内容

##### 作業内容

○施設外就労や出向の機会を設け、社会参加と労働への意欲向上。

##### 出向

- 物品販売（COOP 二条店 第1火曜日）
- ふれあい喫茶（COOP 二条店第1・第3金曜日）
- 喫茶“ぴあ”（金曜日 月2回）
- 芦生職場実習（年3回 2泊3日）
- 仏具磨き
- 営業活動（事業所を回りカタログ販売）  
佐川アドバンス（ネット）・きょうされん味と暮らしの特選品に掲載

## 施設外就労

介護事業所の配食、マンション清掃、駐輪場清掃

## 職場実習

ほっとはあとセンターの清掃実習に1名。

「福祉から雇用へ」事業の活用 1名。京都生協・フレスコの職場実習を行う。

### ○蒸しまん&カフェ “まんまん堂”

ランチを始めるようになって固定客も増え、忙しい日には一時に30食以上も出るということがあり、地域の方々はじめ、口コミで遠方より足を運んで来てくださる方など、多くの方に愛される店・美味しい店として定着してきました。一方で、仲間・担当職員への負担も大きくなった1年でした。実習で固定メンバーが抜けて、ピンチヒッターが入るということも多々ありましたが、急な交代にも仲間が応えて入るなど頑張る姿も見られました。地域の画家集団（ロケット探偵団）に描いていただいたまんまんのシャッターが、老朽化で動かなくなり、可愛いと評判のシャッターただただに残念ですが、ロールシャッターに交換しました。

### ○人ひとりの利用者が各班の方針に基づいて、力いっぱい作業に取り組めるよう援助。

#### ・蒸しまんの製造・販売

新商品の試作を行うが、商品化には至らず。

ほっとはあとセンターのコラボ企画に参加し、他事業所とコラボ商品を販売

#### ・下請け（手芸用品の袋詰め、箱折り、生協のチラシ配りなど）

新年度スタート時より途切れることなく、仕事が入る。ひとり一人意欲を持てるよう個別支援を重視し作業に取り組んだ。

#### ・自主製品（廃油石けん、縫製品、牛乳パック再生紙他）

## 作業以外の事業実績

### ① 自治会活動 第一水曜 午後～

話し合い、役員選挙、係り活動、グループ別活動（月1回半日）

### ② 避難訓練 年2回実施。（通報・避難・消火器の使用・アニメ上映）

9月・2月に実施

### ③ 健康診断 第2中央病院にて実施、9月に2回に分けて実施

歯科検診 6月に歯科センターより来所。歯磨き指導も実施

### ④ 宿泊実習 希望者を対象に年1回～3回実施。（5月～12月）

### ⑤ うたごえ 年5回実施。指導者に来ていただく。7月の上北うたごえまつりに参加

### ⑥ 療育の取り組み

障がいの重い仲間を対象に月2回（2グループに分けて）

所外にて実施。（体を動かす取り組みを中心に）

- ⑦余暇支援 サークル“すまいる”（ほぼ毎月、祝日を利用して希望者対象に実施）  
6月・9月以外、実施。計10回。のべ185名参加（月平均18.5名）
- ⑧創作活動 週1回半日、希望者対象に絵画制作など実施。春に“ぶらり嵐山”にて  
作品展を開催。
- ⑨夕方サロン 40歳以上の仲間を対象に、夕食を摂りながら語り合う。  
6月・7月・10月・11月・12月・2月の計6回実施
- ⑩作業所旅行 6月21日～22日（名古屋・浜松方面）

## その他

### \*30周年企画

5月26日（日） 構成劇（京都アスニー）30周年記念本の発行（かもがわ出版）

7月 9月 2月 日曜コンサート（まんまん堂）

2月 30周年映画会（京都アスニー）

3月 30周年記念パーティ（ルビノ堀川）

\*後援会活動 わくわくフェスタ（10月20日（日）、元聚楽小学校にて）など

\*家族会活動 懇親会、個別支援計画説明・指導方針・総括説明など

家族向けに「作業所たより」を発行。作業所での様子を家族に伝えた。

\*つうしんの発行 年5回作業所だより発行。発行部数1000～1200部。

季刊でまんまん堂だより発行するが、発行が遅れがちになった。

\*きょうされん活動

9月21日～22日 全国大会（福島）への参加 仲間2名・職員3名